

将来像を実現するための推進方法

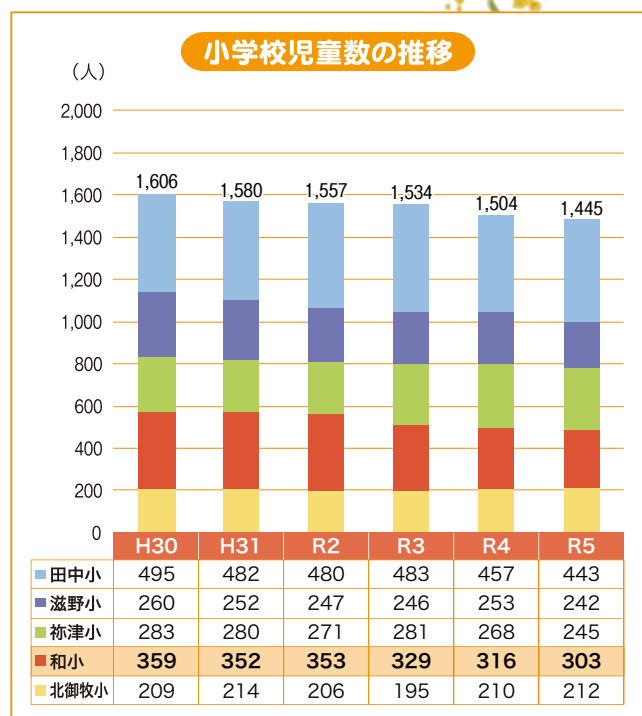
和地区の住民とともに、区長会や地域づくりの会等の各種団体が連携して、担うべき役割を分担しながら、各取組みを推進していきます。

また、行政をはじめとする関係機関と協力し和地区のコミュニティ再構築に取り組めます。

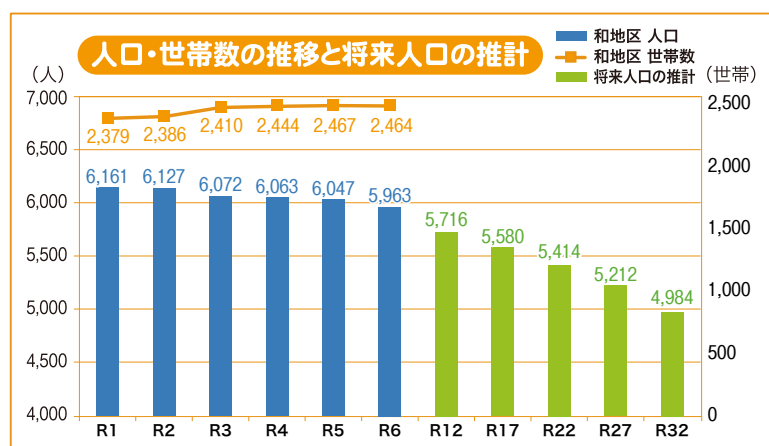
- 具体的な取り組みについては、目標（行動計画）を持って住民みんなで実現を目指します。
- 子どもから高齢者までの幅広い世代が参画し、若者、女性や移住者が積極的に関わることができる活動を展開していきます。



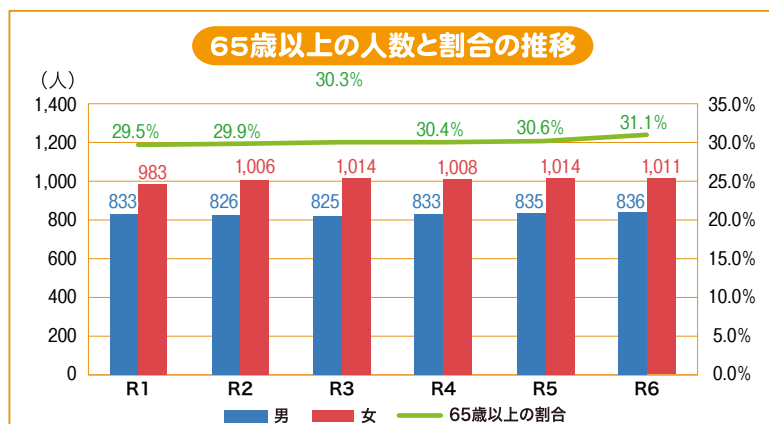
和地区の統計



資料：東御市の統計（学校基本調査）



資料：東御市住民基本台帳（各年3月31日現在）、東御市人口ビジョン



資料：東御市住民基本台帳

令和6年度東御市小学校区単位地域づくり推進交付金事業

和地区の現状と課題

若者の定住、子育てに関する課題

- 魅力的な進学先や職場が少なく若者が地元を出て戻って来ない
- 未婚・晩婚が増えている（出会いの機会が少ない、結婚を希望しない、経済的に自立した女性の増加）
- 核家族化、共働きの定着、教育費の増加などで子育てにかかる負担が大きくなっているが、それを支える仕組みが十分に整っていない
- 放課後の居場所づくりが十分でない（発達障がい児に対応していない）
- 親が忙しく子どもと関わる時間が十分に取れない
- 親に「頼らない・頼れない」
- 和地区は道路が狭く、交通事故が起きやすい
- 小学生の通学路の安全確保が十分でない
- 共働き家庭への子育て支援が不足している
- 子育てに関する情報を得られる人と得られない人の差が大きい（情報発信の仕方の問題）
- 不審者・SNSトラブル等により子どもたちの安心安全な生活が脅かされている
- 不登校の児童・生徒が増加している



和地区の将来像

若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区

～若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します～

目指すべき姿

- 和やかな田舎の良さが保たれている地域
- 笑顔で住める、明るく暮らせる地域
- 若者が経済的に自立できる地域
- 地域の交流が密で一体となり、地域の子ども達を育てることができる地域



実現させたいこと

- 【5年後】
 - 子どもが安心して生活できる環境の整備（安全な屋外の遊び場の整備、地域での見守り活動の継続、ネットリテラシー教育の推進、交通ルールの遵守、居場所の充実）
 - 安心して子育てができる環境づくり（親同士や地域の交流・連携の場の確保、子育て支援・子育てに関する情報の充実）
 - 若者同士の出会いの場の充実
- 【10年後】
 - 若者が働く場所の充実

農業・農地、景観、観光に関する課題

- 担い手の高齢化や後継者不足により、荒廃地・遊休農地が増加している
- 地区内の名所や史跡・観光資源が有効活用されていない
- 里山の魅力を活用するための環境整備が十分でない
- 空き家等が増加している
- 若者や観光客が集まる場所が少ない



観光と農業・農村が共存共栄できる地区

～農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します～

目指すべき姿

- 地域資源や景観、歴史等を活かした観光と農業ができる地域
- 農業に子どもの頃から親しみ、継承される地域
- 利便性が高くのどかな田園風景が広がる地域
- 豊かな農業と景観を活かし、若者が根付く魅力ある地域

実現させたいこと

- 【5年後】
 - ワインなど特産品の産地化（特産品の開発やブランド化、観光農園の整備、6次産業化等）
 - 大田区休養村を活用した子どもたちの農業体験
 - 地域の魅力を活かした取り組み（児玉山などの里山交流拠点整備、和小学校記念館などの歴史遺産の活用、湯楽里館などの観光施設の連携等）
- 【10年後】
 - 農業の再編と統合、荒廃農地の再生等
 - 景観を考慮した農地エリアの保全

伝統行事、近所づきあい、支えあいに関する課題

- 高齢化、参加者の減少により伝統行事や地域行事の維持が困難になっている
- 様々な世代で行事への参加者が減少している
- 住民同士が顔を合わせる機会が減少している
- 新旧住宅地間の繋がりが薄くなり希薄化している
- 空き家が増加し、防犯・衛生や景観等の生活環境が悪化している
- 自らの区・地区を自らが守る意識が低くなっている



多様な世代が運営を支え、郷土愛を持てる地区

～伝統行事、近所づきあい、支えあいが盛んなまちづくりを目指します～

目指すべき姿

- 子どもからお年寄りまで参加できる伝統行事や地域行事が実施できる地域
- 良好な近所づきあいをし、有事の際に支え合いができる地域
- 移住者も含めて郷土愛を育むことのできる魅力ある地域

実現させたいこと

- 【5年後】
 - 行事を複数区、和地区で開催（負担軽減を図りながら顔が見える機会の創出）
 - 区の役員の負担を減らす
- 【10年後】
 - 高齢者の買い物や通院を支える仕組みづくり
 - 空き家（地域資源）をPRして、移住者（IJUターナー）を増加させる

みんなで残そう「和」の風景と歴史

かのう

～ 将来残していきたい・残してもらいたい地域資源マップ ～

平成 27 年に作成した地域資源マップを新たに作成しました。

和地区は、烏帽子岳の麓に広がる南面傾斜の扇状地に位置し、自然に囲まれたすばらしい風景が地域の自慢です。また、伝統文化や歴史が多く、そして、住民の絆で運営する伝統行事や地域行事が盛んです。

和地区の良さを、これからも将来に伝え、みんなで残していきましょう。

④ 湯楽里館



平成6年にオープンした眺望が自慢の市の日帰り温泉施設。施設の周りにはぶどう園に囲まれており、最近では観光農園が盛んです。

⑥ 栗林区「獅子舞」



明治15年頃より区民によって伝えられてきた獅子舞。区をあげて保存に取り組んでいます。

⑦ 西深井区「住吉神社」



令和4年に建替えられた住吉神社は、元始祭、春季例祭、秋季例祭が行われ、区民はもとよりウォーキング中の方が立ち寄るなど、人々の心のよりどころとなっています。

⑧ 弁天様の泉



和神社の創建(明治41年)に合わせ当区の弁天社も合祀となったが、貴重な水源であったが弁天様の泉は井戸となって残った。

⑨ 曾根区「ふれあい祭り」



毎年11月の第1又は第2日曜日に開催。長年実施している区の一大事業です。区民総出の年1回のお祭りで、主な出し物は福引、作品展示、野菜販売などです。

⑩ 曾根「夏祭り」



毎年8月に公民館主催の夏祭りを開催。大勢の子ども・大人が参加し、区民の親睦を深めています。

⑫ 東深井区南側道祖神



区の南側、松代街道から村中に入る道脇の道祖神、奥の大きな石碑は明治時代に建てられた筆塚。

⑬ 田沢区「御柱祭」



美都穂神社で7年に1度、寅と申の年の4月12日(前後の日曜日)に御柱祭が行われます。木遣りの音頭により、大勢が掛け声をあげながら、御柱を神社まで曳いて、境内に建立する祭りです。

⑭ 田沢区の風景



上ノ山から見下ろす田沢区。自然が豊かな農村です。

⑮ 竹内不忘顕彰碑



竹内不忘翁の作品と顕彰碑
栗林出身 平成23年没
(湯楽里館前)

⑯ 大田区休養村とうぶ (東入区・西入区)



東入区と西入区の両区にまたがって位置している。平成10年開設の大田区の区民休養村。毎年、多くの小学生が校外学習に訪れ、農業体験などを通じて、この地に愛着を持ってもらっています。

⑰ 東上田と児玉山



東上田から見た児玉山です。

⑱ 東上田区の風景



東上田姫子沢から眼下に広がる東上田区の風景です。

⑲ 東上田区「春原家住宅」



区内にある国の重要文化財の「春原家住宅」は、江戸時代初期の上層農家の住宅で、当時の生活の様子が伺える貴重な建物です。

⑳ 和保育園



平成26年4月に和・西部保育園の統合によって開園した和保育園。

㉑ 東上田公民館からのぞむ城山



赤津城山の頂上に「あの有名なねずみのキャラクター」の頭のような形の本が見えます。見慣れた風景にも、新たな発見があります。

㉒ 寺坂区横山西の塚古墳



寺坂住宅団地内にある「横山西の塚古墳」。直径約16m、高さ3m石室内部が見学しやすい古墳になっている。寺坂区で草刈りなどを行い、大切に管理している古墳です。寺坂区のシンボルの存在。

㉓ 和神社



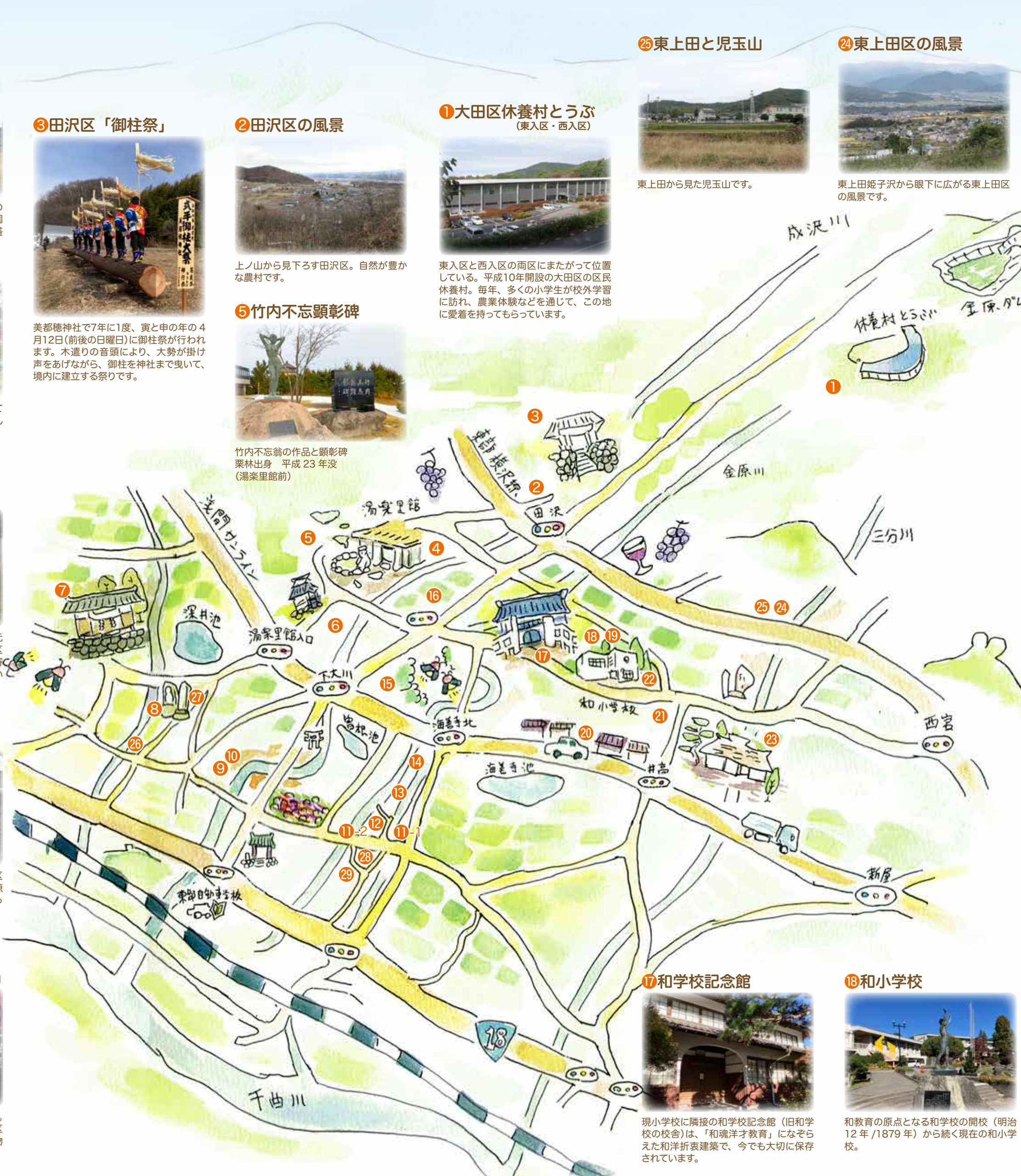
明治41年に各集落にあったお宮(9村社、11無格社)が合併し、「和神社」として愛宕山に祭られ、現在に至っています。

㉔ 大川薬師尊(薬師堂)



真田家の庇護を受け、この地域に薬師堂が建てられ、薬師尊(丸彫木像 高さ21cm)が祀られました。当時の薬師堂は、焼失しましたが元和9年(江戸時代初期)に下大川に再建され、その後、現在地に移設されました。1月と4月に縁日が開催されます。

※このマップには、地区内のすべての史跡や行事等が掲載されているわけではありません。そのためこれを機会に地域に目を向け、これまで気づかなかった地域資源や、後世に残していかなければならない行事等の掘り起こしにつながっていくことを願っています。



㉕ 和学校記念館



現小学校に隣接の和学校記念館(旧和学校の校舎)は、「和魂洋才教育」になぞらえた和洋折衷建築で、今でも大切に保存されています。

㉖ 和小学校



和教育の原点となる和学校の開校(明治12年/1879年)から続く現在の和小学校。

㉗ 海善寺北区「盆踊り」



1984年(昭和59)に始まった正月行事です。残り火で焼く藁玉が楽しみです。

㉘ 海善寺北区「歩こう会」



1996年(平成8)から5月に中央公園まで歩き、芝生公園でマレットゴルフその他のゲームを楽しみます。

㉙ 睦区



区で行ったナイアガラの滝です。

㉚ 大川区「ほたるの里」



平成12年に、ほたるの生育環境の整備を開始しました。大川区に流れる西川沿いに、ほたるが舞っています。区民広場下、西川の橋付近に6月中旬から7月初旬の20時から21時ぐらいが見頃です。

㉛ 日向が丘区



日向が丘区では、「柏餅つくり」「お餅つき」「まゆだま作り」等の三世代交流を積極的に実施しています。子供世代では、社会性の習得や思いやりの心を育むこと、高齢者にとっては認知症予防や楽しみにもなります。また、高齢者や子供が積極的に参加するようになり、見守り活動にもつながっています。

㉜ 史跡 海善寺跡



海善寺地域には東信州随一という大きな「海善寺」というお寺がありました。その後真田家により上田市に移転、当地の寺は金原川の大洪水により流失しました。現在年2回清掃活動をしています。

㉝ 滋野神社



海善寺地域の産土神であったが、京都石清水八幡宮から分社され八幡宮を祀り、地域の豪族「海野氏」から厚く信仰されていた。明治13年に滋野神社に改称され現在に至っている。

㉞ 東深井区北側道祖神



区の北側、松代街道から東深井区に入る道路脇の道祖神。左側は「平成の道祖神」、奥の石塔は江戸時代の念仏塔。